

## 創ゼミ 2022 年受験生合格体験記(原文まま)

○岡田康暉(南山高校) 入塾:高1 終わり頃  
進学先 学習院大学

僕が入塾することになってから、第一志望合格までの道のり記憶をたどって書きます。僕は小学生で中学受験をして、中高一貫の南山に通っていました。理由は、高校受験もなく、好きなサッカーをひたすら出来る、大学まで楽に行きたいという理由でした。その通り、勉強よりもサッカーを優先して、気づけば赤点だらけで進級すら危うくなっている状況までになってしまいました。高校1年になり、これはヤバいと思い、母に「どこでも良いので塾に行かせてください」と言い、紹介してもらえる縁があり、創先生の塾に通うこととなったのです。まずは身の回りの整頓、言われた目の前の課題に取り組むことから始めて、そこからまずプリント類の扱い、勉強の仕方など、勉強方法以前のことから指導してもらい、僕は記憶することには自信がありました。ただ覚えれば良いからです。創先生の出す英単語のテストなど、僕にとって緊張するものでしたが、一方で「やってやる」という原動力にもなっていました。日本史や古典も同じでした。そういった日々の少しずつの暗記物の取り組みが、学校の勉強にもうまく影響してすぐに結果はついてきました(まあ、始まりが最低のところからだったからあがるしかない)。創ゼミは、有名な進学高校に通う生徒ばかりだったのも、僕の刺激になりました。真剣に授業を受けて、先生が板書しないこと(口頭で説明するもの)もすべてメモするくらいの勢いじゃないと、みんなに置いていかれることが恐くて、みんなのおかげもあってとても真剣に勉強に取り組みました。

ちょうど高校2年生の時に新型コロナウイルスが流行ってきて、高校が休講になったため、創先生のオンライン授業など7時間机に向かって勉強したことで、ターゲット1900がほぼ完璧になり、英頻も2~3周回することができたため、学校のみんなどかなり差を作ることができました。この期間で英語をしっかりとやったことで、高2の終盤で長文を読むことが楽しくなり、少しずつ英語の点数が上がっていきました。日本史も高2の途中からスタートして教科書をすべて覚えるくらいの勢いでやっていました。受験勉強を真剣に取り組んでいたら、自然と学校の成績が上がってきたため、指定校推薦を少しずつ視野に入れ始めました。しかし、やっぱり受験勉強をやりながら学校の勉強をすることはとても大変でした。それは、自分が学校の授業はほとんど受けずに受験勉強と睡眠にあてたからだけ(笑)

高校3年生になって、日本史と漢文だけは点数が取れることができてきたのですが、英語の成績が思うように伸びずに、心配性の自分は一生ビビっていました(笑)自分の中で目標を立てていて、夏休みが終わる頃には日本史の教科書をすべて終わらせて、すべて覚えきろうという目標です。結果から言うと目標をこなすことができました。目標を達成したことで、自然と他の教科にも時間を回すことができたのでとても効率よく勉強ができました。

夏休みが終わって、学習院の指定校が届いて見事勝ち取ることができたので、学習院大学

に進学することができました。

先生に出会えてなかったら、自分の人生はどうなっていたか分かりません。本当にありがとうございました。学習院大学で待っています!一緒にアメフトやりましょう!!!